

様式第十四（第五十八条第四項関係）

形質変更時要届出区域台帳

八王子市

整理番号	整－29－2	指定年月日・指定番号	平成29年5月25日・形－10	所在地	八王子市下恩方町794番4の一部	
調製・訂正年月日	平成29年 5 月 25 日					調製
形質変更時要届出区域の概況	工場跡地			面積	96.2m ²	
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨				—		
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該省略の理由				—		
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該汚染の除去等の措置				—		
第58条第5項第9号から第11号までに該当する区域にあっては、その旨				—		
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	平成29年3月27日	ふっ素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		株式会社東京カンテイ
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

1. 本調査報告書について

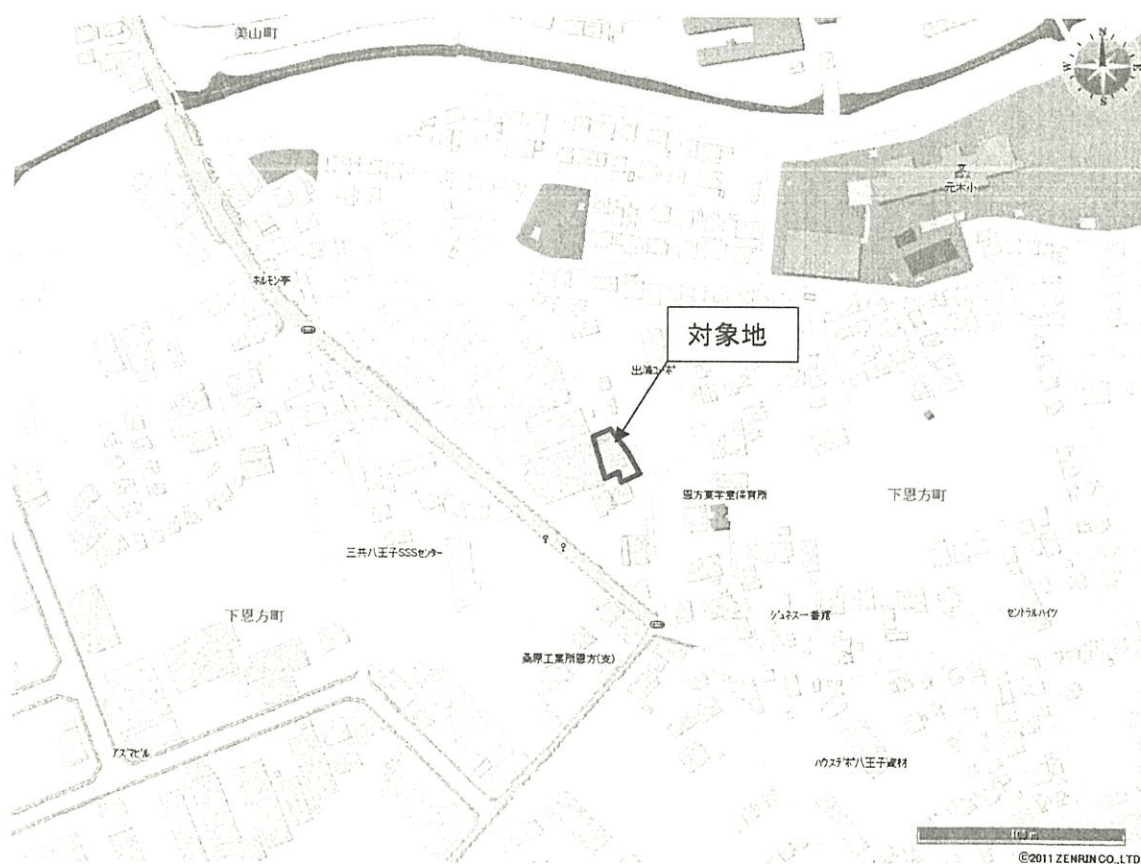
本調査報告書は、東京都八王子市下恩方町 794 番 4 号(住居表示)において、工場廃止およびみなし設定される特定施設使用廃止に伴い、「土壌汚染対策法」(平成 14 年 5 月 29 日法律第 53 号)(以下、「法」)第 3 条第 1 項および「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」(平成 12 年 12 月 22 日 条例第 215 号)(以下、「条例」)第 116 条第 1 項に準拠して実施した土壌概況調査(「土壌汚染状況調査」)の報告を行なうものである。

2. 対象地概要

住 所：(住居表示)東京都八王子市下恩方町 794 番 4 号
(地番)東京都八王子市下恩方町 793 番 4、794 番 4(以下、「対象地」)
(対象地位置を、図2-1に示す。)

面 積：295.7m²(CAD 求積面積)

現用途：工場(閉鎖中)



copyright(C)2011 ZENRIN CO., LTD.(許諾番号 Z04-C 第 217 号)

図2-1 対象地位置図

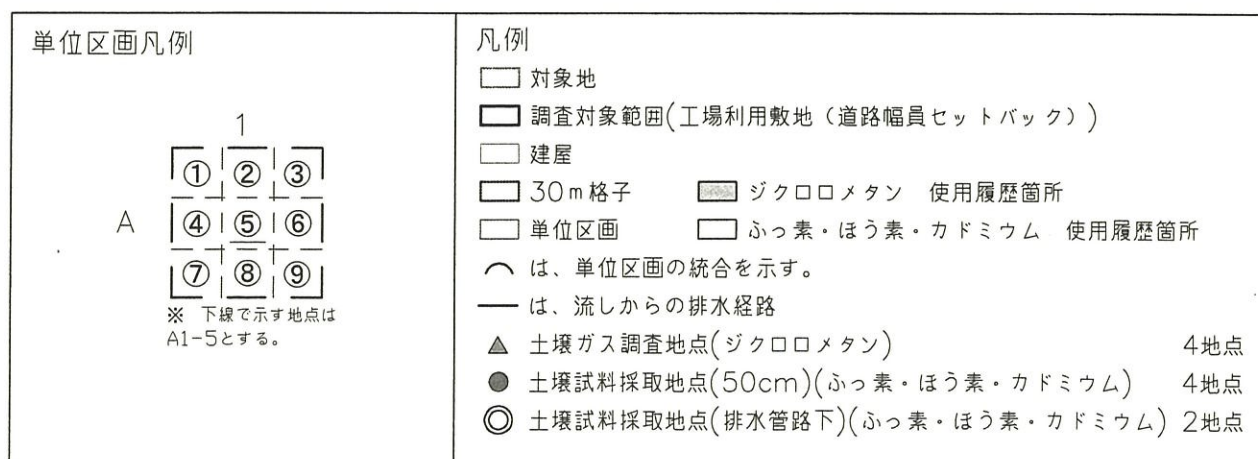
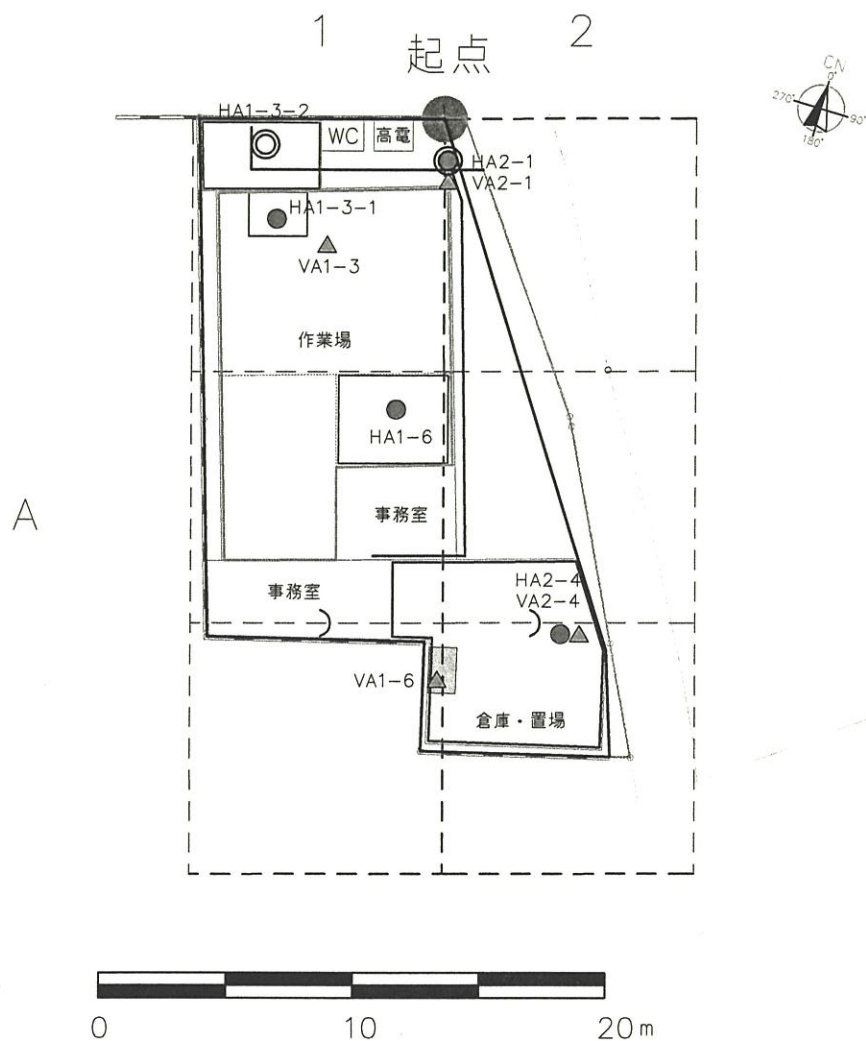


図9-1 調査区画割および試料採取地点図

S=1:300

表9-7 土壌ガス調査結果

単位: volppm

検体名称	VA1-3	VA1-6	VA2-1	VA2-4	定量下限値
採取年月日	H28.5.25	H28.5.25	H28.5.25	H28.5.25	
時間	10:12	10:55	10:04	10:48	
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	0.1

備考1 : ND(不検出)は、定量下限値未満を示す。

表9-8 土壌溶出量調査および土壌含有量調査結果

調査対象物質		検体名称	HA1-3-1	HA1-3-2 配管下	HA1-6	HA2-1	HA2-1 配管下	HA2-4	汚染土壌処理基準	第二溶出量基準	定量下限値
土壌溶出量調査 (mg/L)	第二種有害物質	カドミウム及びその化合物	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	0.01	0.3	0.001
		ほう素及びその化合物	0.69	41	0.34	1.2	1.2	0.86	1	30	0.01
		ふっ素及びその化合物	0.3	100	0.3	11	6.3	1.6	0.8	24	0.1
土壌含有量調査 (mg/kg)	第二種有害物質	カドミウム及びその化合物	ND	81	ND	1	ND	ND	150		1
		ほう素及びその化合物	11	710	6	29	29	15	4000		1
		ふっ素及びその化合物	48	26000	1100	1400	340	130	4000		10

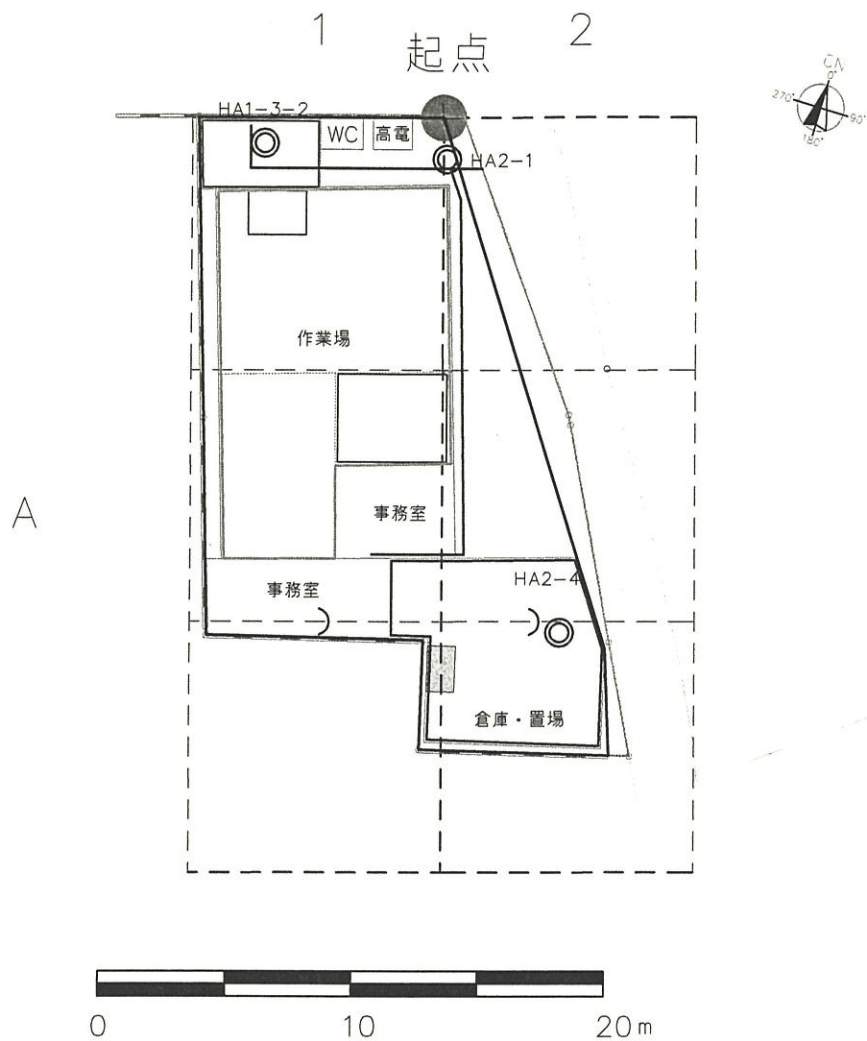
備考1 : は基準値超過、 は第二溶出量基準超過を示す。

備考2 : ND(不検出)は、定量下限値未満を示す。

備考3 : 結果の表示は、含有試験は乾燥固型物当りの測定値を示す。

備考4 : 汚染土壌処理基準は、「都民の健康と安全を確保する条例規則(平成13年規則第34号)」別表第12による。





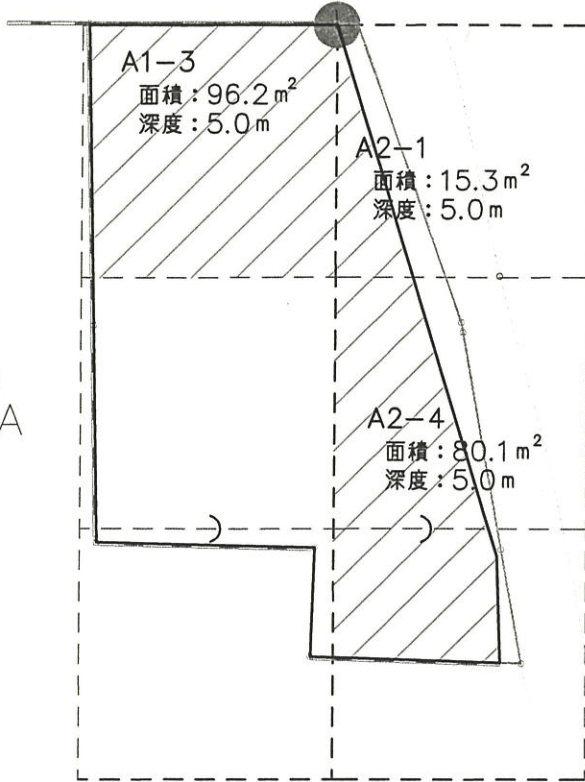
単位区画凡例 1 A ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ※ 下線で示す地点は A1-5とする。	凡例 □ 対象地 ▭ 調査対象範囲(工場利用敷地(道路幅員セットバック)) □ 建屋 □ 30m格子 □ 単位区画 ◡ は、単位区画の統合を示す。 — は、流しからの排水経路 ◎ 深度方向試料採取地点(7.0m~12.0m) 3地点 ジクロロメタン 使用履歴箇所 ふっ素・ほう素・カドミウム 使用履歴箇所
---	--

図10-1 深度方向調査地点図

S=1:300



1 起点 2



調査分析結果一覧

地点 項目	A1-3-2			A2-1		A2-4
	ほう素(溶) mg/l	ふっ素(溶) mg/l	ふっ素(含) mg/kg	ほう素(溶) mg/l	ふっ素(溶) mg/l	ふっ素(溶) mg/l
表層	---	---	---	1.2	11	1.6
0.15~0.65m	41	100	26000	---	---	---
0.60m	---	---	---	1.8	9.6	1.1
1.0m	23	32	5400	1.2	7.5	8.0
1.1~1.6m	---	---	---	1.2	6.3	---
2.0m	4.4	3.2	110	0.55	0.1	8.0
3.0m	1.4	0.3	29	0.42	4.6	7.2
4.0m	1.7	1.2	60	0.44	1.9	1.9
5.0m	0.25	0.2	26	0.16	0.2	0.2
6.0m	0.37	0.8	45	0.26	0.1	0.3
地下水	ND	ND	---	ND	ND	---
基準	1	0.8	4000	1	0.8	0.8
第二溶出基準	30	24	---	30	24	24
定量下限値	0.01	0.1	10	0.01	0.1	0.1

備考 1: □ は基準超過、□ は第二溶出基準超過を示す。

備考 2: ND(不検出)は定量下限値未満を示す。

備考 3: --- は分析未実施を示す。

備考 4: 斜体値 は概況調査結果値を示す。

備考 5: 含有試験は乾燥固形物当たりの測定値を示す。

備考 6: 基準は、「都民の健康と安全を確保する条例規則(平成 13 年規則第 34 号)」別表第 12 による。

要対策範囲および要対策土量

単位区画	要対策範囲		要対策土量 (m3)	汚染の状態
	面積(m²)	深度(m)		
A1-3(-2)	96.2	5.0	481.0	ふっ素(溶・含)、ほう素(溶)
A2-1	15.3	5.0	76.5	ふっ素(溶)、ほう素(溶)
A2-4	80.1	5.0	400.5	ふっ素(溶)
計	191.6		958.0	

面積は土壌調査時に測定・作成した図面を基に表示しております。

深度は土壌調査時地表面からの深度とします。

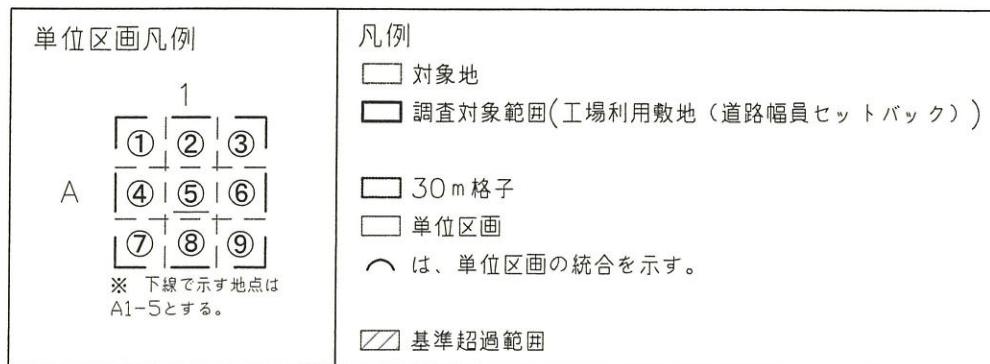
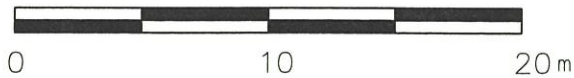


図12-1 要対策範囲図

S=1: 300